

2021 年度 第 5 回企画環境委員会 議事録

日 時 2021 年 11 月 17 日(水) 15:00 ~ 17:00

会 場 WEB 会議(ZOOM)

出席者 21 名

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
東 京	松本 一成	南関東	○ 清田 顕彦	東中国	清水 浩史郎
北海道	広川 太一	東 京	西條 剛	西中国	宮下 香津恵
北東北	後藤 芳晴	東 海	生川 恭道	四 国	○ 開出 昭
南東北	福村 浩幸	北 陸	林 忠宣	九州北	(石井 将史)
上信越	神林 英樹	近 畿	安井 義幸	九州南	安座間 安由
東関東	小坂橋 聡	阪 神	山口 善克		

< 担当副会長 > 小田島 綾子

< 事務局 > 常務理事: 小見 隆彦、特命部長: 金澤 亨、特命部長: 大谷 隆(記)

: 委員長、○副委員長

< 委員会での決定事項 >

- ・事業継続力強化計画、社労士診断認証制度のセミナー動画と YouTube 視聴によりメリット、必要性を理解してもらうよう働きかける(スケジュール調整がつけば松本委員長が各会議に出席しリアルで説明することも可)。
- ・RM 講座については、待望している会員も多くいるので、早期に開講させる。

議 事

1. 挨拶

1. 松本委員長挨拶

- ・本日も忙しい中参加いただき感謝申し上げます。これまで全て WEB 開催であったが、ようやく緊急事態宣言が明けたので、この状況が続くことを前提に 1 月の委員会はハイブリッド開催を予定しており、リアルで会うことができる事を楽しみにしている。
- ・一方で、緊急事態宣言が明けて飲食店等も普通に営業を再開しているが、恐らく今後は倒産が増えていくだろうことは皆さんも重々理解されていると思う。ゼロゼロ融資によって中小企業の借り入れは膨らみ、負債が 5 兆円を超えている。過半の企業において、その返済が年度内に始まるが、補助金は先細りしていき、雇用調整助成金等の支援もいつまで続くか分かりません。支援が先細りし、新しい生活習慣の中でお客様が戻るかも分からない状況の中で利益を上げて返済していくことは厳しいのではないかと考えている。この 2 年間コロナ融資の関係で倒産件数は激減していますが、収益性が無い中で負債だけが aumentando、今後は倒産が増加に転じる事が想定されます。このような環境の中で、保険代理店がどのように関わっていけるかを考えていかなければいけない。
- ・本日の委員会は 2 時間バージョンなので、チャンネル間競争力の事業継続力強化計画、社労士診断認証制度、リスクマネジメント講座を中心に論議していきたい。最初の二つは既に始まっているが、開催したセミナーの視聴は伸びていません。また、日本代協チャンネルを開設し、必要性を喚起する映像をアップしていますが、これも視聴数が少ないので、これをいかに広めていけるかが課題である。
- ・2 時間ではあるが、活発な議論をしていきたい。

2. 司会進行・議事録作成者の氏名

司会進行に清田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項・情報共有事項

1. 第5回 理事会報告

事務局より、配布した第5回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・審議事項は、「正会員実態調査」の実施、「代理店経営未来塾」の開講の2項目について審議され承認された
- ・事業計画推進状況について、地域担当理事・各委員会担当理事より報告があった。

・審議事項

1. チャネル競争力強化策(事業継続力強化計画認定制度)について

清田副委員長より、

- ・認定の必要性は誰もが認識しているが、それをどのように具体的にするかをセミナー開催で段階的に公開してきた。視聴が鈍化してきているが、ここが我々の腕の見せ所だと思うのでその点について論議していきたい。
- ・コロナ禍で会議がWEBとなってしまう良さが上手く伝えられないという意見が前回の委員会でも多くあったが、オンラインセミナーのチラシに積極推進する理由が5点記載されているのもう一度皆さんが理解してほしい。
- ・本日は、その中で「事業継続力強化計画の作成を通して企業に対して最適な提案が可能になる」という点にフォーカスを当てたいと思い、好取組事例をdirectに連携しているし、本日の資料にも載せているので、紹介したい。ポイントは、自ら(自社)が作成し顧客に提案することで営業活動に大きな変化があったという点である。
- ・保険会社主導で認証取得している代理店も多いが、やはりチャネル間競争力を高めるために企画環境委員会で推進しており改めて会員にしっかり伝えていきたいと思うので、他の好事例取組みや意見を聞かせていただきたい。

(主な意見・質問)

- ・自社で認証取得したが、まだ顧客に広める活動ができていない。東京代協では、まず企画環境委員が取得して各支部に広めていく活動を行っているが、必要性を感じていても日常業務の中で時間が取れずに申請まで至っていないケースが多い。
- ・新潟県代協では、MSA生命社が事業継続力強化計画を推進していることもあり担当地区の代理店に推進してほしいと依頼している。
- ・北海道では、経済産業局と連携し取組みを推進しており、東京海上ディーアール社と連携したセミナーも開催している。
- ・東中国ブロックでもリアルでの会議開催ができないことにより士気が下がっている気がする。そもそもBCP策定ができていない会員が多いので支部例会等に出向いて行って直接伝えようと思っている。
- ・山口では支部により取組みに濃淡があり、BCPセミナー自体ようやく12月に開催する状況である。ようやく西中国ブロック会議をリアルで行うのでツールをセットして、忙しいのはわかるが、どこかで意識してもらえるように説明したい。
- ・前回の委員会後に阪神ブロック協議会があり、取組み推進を伝えた。兵庫ではYouTube動画を会員にメールで配信し視聴を促している。
- ・会議の都度、推進依頼しているが、なかなか進んでいない。12月8日にBCPセミナーが開催されるのでそこでも再度推進していく。お客さまに提案しても、まだ反応が良くないような気がする。
- ・九州南ブロックでは、ようやく支部例会が動き出し個別にセミナーを開催していく中で推進していく。宮崎でセミナー開催前にアンケートを取り事業継続力、BCP策定の状況を把握し、未策定の会員に

動画を案内している。九州南ブロックでもこの取組を共有して進めていく。

- ・セミナーや動画を視聴した会員は意識が高く取り組んできている。実際に策定した BCP をお客さまに提示し策定支援を行っている(栃木県)。
- ・神奈川では、保険会社から言われて自主的に取得している会員が増えている。また、独自セミナーを開催し支部単位で企画環境委員に責任を持ってもらい推進している。

(松本委員長より補足)

- ・事業継続力は有事の際に代理店が真っ先にお客さまのことを考え、対応するためにも、認証取得しておかなければならないということと、もう一つは新規開拓にもつながるものである。
- ・社会的にもBCP の必要性は認識されてきているので、既存のお客さまに伝えていくことも当然必要だが、社会的に必要なものとして業界団体等にも話を持ち掛けていっていただきたい。
- ・好事例等あれば企画環境委員会で収集して共有していきたいと思う。

2. チャネル競争力強化策(社労士診断認証制度)について

開出副委員長より

- ・やるべきことが増えて、三冠王の項目にも入っていないことから先ほどの事業継続力強化計画よりも全体のトーンが低いのではないかと心配しているが、委員会として社労士診断認証を推進していくと決めた以上は皆さんに協力頂いて、まずは宣言企業を会員の30%を目標に進めていきたい。
- ・認証を受けるメリットはチラシに4項目記載されているので改めて伝えていただきたい。
- ・認証取得には社労士との連携が必要だが、各県代協事務局が労務士を見つけて紹介していくのが早道ではないかと感じている。
- ・3月15日までセミナー動画が視聴できるので推進をお願いしたい。

(主な意見・質問)

- ・九州北は先日ブロック協議会が開催され議題には上がったが、動きづらいという意見が多く殆ど取組みができていない状況である。また、イメージが上手く伝わっていないので、いかに会員に腹落ちさせるかについて企画環境委員の間でも論議した。
- ・南関東ブロックでは、会議の都度議題に上げているが反応が良くない。セミナーは認証取得の目的が分かりやすく解説されているので改めてチラシ等を活用し推進していきたい。
- ・東海ブロックでも、ブロック協議会で共有したが反応は同じく良くないが、先月末までには4県の社労士会に訪問し今後の取り組みについて打合せを行い支部会でのプチ勉強会開催等を打診した。また、伝道師として認証取得した会員が地道に個別に推進もしている。
- ・四国ブロックは12月にリアルでブロック協議会が開催されるので、関連資料をしっかり準備して企画環境委員長等に改めて説明し各県への推進依頼を行う予定である。
- ・北海道では、理事会でかなり強めに押し込んでいるので役員が宣言までに行っているが、その先が進んでいない。しかし保険代理店でも36協定は必要なので、労働関係の観点からも進めていきたい。
- ・宣言企業までは比較的容易にできると思うが、そこから先は費用も発生するのでハードルが高いと感じている。来月の近畿・阪神合同のブロック会議で10分程度時間が取れたらその場で宣言登録をってもらう事を考えている。その先は、社労士とのつながりがない会員も多いと思うので各代協で相談できる社労士を紹介出来たらと思う。
- ・西中国は個別に声をかけているが進んでいない。12月の会議でミニアンケートにより取得状況を確認し個別に対応していきたい。

(松本委員長より補足)

- ・中々リアルでの会議が開催できないのでハードルが高いという意見が多いが、チャネル間競争力で差をつけるのであれば、ハードルの高いことをやらなければ差は出てこない。

- ・社労士診断の宣言は誰でも出来るはずなのに、何故そもそも宣言すらしないのか？人を資源としている保険代理店がこの取組を行わないことに疑問を感じている。
- ・先程の事業継続力も認証取得して名刺に表記していれば名刺が営業してくれるようになる。
- ・社労士との連携による相乗効果が高いことは実感しているし、社労士でないと見えないリスクも多くあるので共通のツールを持ってお客さまに対して適切な人事労務リスクを提案していくことが差別化になっていく。
- ・代理店にも規模の大小はあるが、これから人を採用していこうとしている代理店であれば取得しておいて間違いないものであるし、お客様を守る意味でも積極推進をお願いしたい。
- ・まずは、セミナー動画を視聴して内容を理解してもらうことが重要なのでしっかり案内していただきたい。
- ・各ブロック会議等でスケジュールが合えば出席させていただき必要性を説明させていただくので声掛けして欲しい。

3. チャンネル競争力強化策(リスクマネジメント講座)について

松本委員長より

- ・リスクマネジメント講座は費用が掛かることから、ハードルが高いと考えられるが保険はリスクマネジメントの一つの手段である。
- ・まだ、スタートとしていないが必要性は誰もが感じているところであり、代理店経営やチャンネル間競争力にもつながる取組みである。
- ・現状はTFを立ち上げているがセミナー開催がずれ込んでしまっているので来週のTFで再度調整して案内する。その後リスクマネジメント講座を開催する予定である。
- ・本日は、リスクマネジメント講座をどのように進めていくか、どのようなイメージを描いているかを聞かせていただきたい。

(主な意見・質問)

- ・自社としては前向きに取り組みたいと考え、ブロック会議等で趣旨は伝えているが実際に稼働させていくとなった場合どれだけの会員が参加するのかが見えない。今後リアルでの会議が増えるので、その場でも熱く語っていききたい。
- ・リアル会議ができていないので趣旨を上手く伝え切れていないのと、優先順位が後順位になっているのが現状である。
- ・会議がリアル開催になってくるので、しっかり伝えていきたい。リスクマネジメント講座は代協アカデミーを通して格安な料金設定になっているので本当に興味がある会員は飛びついてくると思う。
- ・優先順位が3番目になっているが個人的に一番興味がある課題であるので伝え方を工夫していく必要があると思う。
- ・日本代協アカデミーのコンテンツを増やすことは、代協会員のメリットにもなることなので、そういった観点で進めていきたい。
- ・ブロック協議会で、チャンネル間競争力の3本柱の話をするがリスクマネジメント講座は必要性や価格の面から会員の目の色が違う感じがしており、案内を待っているのではないかと。
- ・YouTube 動画について、アバターに抵抗がある(保険会社も新商品の説明をアバターを使っているが自分が説明したら、と思うことがある)が、内容は素晴らしい。
- ・アバターに関しては、一体だけなのでパートに分けて使い分けたらどうか。

(松本委員長)

- ・課題として、学んだ知識を実践で活かせるような工夫を考えていきたいので単年での取り組みではないことを理解していただきたい。
- ・事業継続力強化計画も社労士診断もリスクマネジメントに繋がっていることなので切り離さないで考

えていただきたい。

・その他情報提供・閉会

1. 情報提供

事務局より下記情報提供があった。

- ・12月4日に開催される日本損害鑑定協会「鑑定フォーラム」の申込みは締切られてはいるが、日本代協 HP の会員専用書庫にチラシを添付しているので確認して申し込んでいただきたい。特定修理業者対応につき弁護士講演があり、特定修理業者の参加を抑え込むための専用コード(日本代協専用のコード)があるので必ずコード入力の上申込みしていただきたい。
- ・19日にコンベンション特別企画のパネルディスカッションが開催されるので、是非視聴いただきたい。
- ・神奈川県代協の事業継続力推進について補足。三ヶ尻会長以下役員と事務局が中企庁の HP から認証取得リストを個別にピックアップして集約し目標管理をしているので、他の代協でも誰がどうやってリストアップするのかを落とし込むことが大事だと思う。

2. 本日の到達点の確認

事務局より本日の決定事項の確認が行われた。

3. 小田島副会長閉会挨拶

- ・日頃の委員会活動推進に苦勞されているとの報告内容を十分に受け止めた。それでも、他の委員会でもそれぞれ課題を抱えながら頑張っている。松本委員長から三本柱の取組みの意義、代理店の役割がどれだけ大切なのかを聞かせていただいたが、皆さんもそれを分かっているが、焦る気持ちも伝わってきた。
- ・先週の土曜日(13日)に金子会長と松本委員長がパネラーとして登壇された国際保険流通会議に参加してきた。そこで改めて中小企業庁から、お客様に防災・減災、様々な災害に対する保険の提案をするのは保険代理店であり、その保険代理店が事業継続力強化計画を推進できる存在であるのだ、と繰り返し話されていた。元のところに立ち返ってその役割を我々が担っており、お客様への話題提供をコツコツと取り組む事がすごく大事であり、その体験を仲間の会員に伝え仲間を増やし、本当の必要性や知恵が生まれていくことに結び付けていくのではないかと感じている。防災、減災に本当に取り組まなければならない状況を突破していく足がかりとして、そこに役立つ我々でありたいと思った。
- ・また、社労士診断認証制度についても、自分の会社で労働問題が起こったらどのように対処しようかとか、自分事としてとらえる視点で見ていくことが大事だと思う。お客様からハラスメントの相談を受ける機会が増えてきているが、その時に社労士とどのように相談するのかを費用が高いからとかではなく発想を広げていくことが大事である。松本委員長からの保険の知識以外でリスクマネジメントの知識の一環として社労士診断も併せて推進していくことがどれだけ我々の力になるのかとの発言を受け止めコツコツやっていきましょう。
- ・時間がない中、かつオンラインでの会議では伝えにくいと思うかもしれないが企画環境委員会の話をしっかり聞いて欲しいという強い思いで、発信していくことが大事だと思うので一緒にやり切っていこう。
- ・19日のパネルディスカッションは若い視点で、どんな課題に取り組んでいるのか、とても楽しみにしているので是非アクセスして聴講しましょう。

以上

次回開催日 2022年1月17日(月) 13:00~17:00 ハイブリッド開催